

篆刻研究 選評：佐藤燐水

次号課題 「不爭」

今月の課題は論語の衛霊公編の「子曰 君子矜而不爭 群而不党」から転借した「不爭」とする。

訓読は「子曰く 君子は矜^{おごり}にして争わず 群して党せず。」で、意味は「孔子先生がおっしゃるには、君子や人の上に立つ立派な人は厳肅でござそかで人と争わない。また、大勢の仲間と親しくしても徒党を組むことはない」といったところか。

論語には同じような意味の言葉に「和而不同」「泰而不驕」。

参考作品



優秀作品



荒井碧水



中島嶺北

正確な小篆体で刻まれた格調のある作品。

金文体で思い切った文字の配置が新鮮。



藤田秋風



池田春水

凛々しい線質で朱白のバランスが美しい。

自然な線の肥瘦が作品の質を上げている。

- 出品資格特に制限なし。
- 印（印影）の大きさは3センチ以内（形は自由。楕円・長方形等も可）。
- 印影を白の半紙1／4に押印し、右側に条幅出品券を貼付。
- 課題文字以外の随意作品も出品可。消しゴム印も可。